

令和4年度第4回 佐倉警察署協議会

1 開催日

令和5年3月14日（火曜日）

2 開催場所

佐倉警察署

3 出席者

・協議会委員7人 ・警察署17人

4 業務報告

(1) 管内の犯罪発生状況等について

(2) 管内の交通事故発生状況について

5 警察署からの諮問事項

【諮問】佐倉署管内の駐車監視員ガイドラインについて

【答申】ガイドラインの見直しとその理由

6 委員からの要望・意見等

(1) 【質問】

佐倉警察署管内施設や千葉県警察本部施設等について施設見学はできるか。

【回答】

令和元年11月に実施した協議会の際、航空隊を見学しています。今後も、ご要望があれば、施設を管理している担当部署と調整し対応します。

(2) 【質問】

電話 de 詐欺の騙されたふり作戦で受け子等を検挙した際、自宅の電話番号や住所が知られていたり、また、名簿に載っているとしたら、後日、関係者から報復を受けることはないか。また、報復を受けないようにフォローはしてくれるのか。

【回答】

検挙後の犯人の行動については、犯人側の特性によるので一概には言えませんが、報復が懸念される際は、騙されたふり作戦への協力を無理強いすることはしません。

協力していただいた方が報復されることに不安を感じているようでしたら、一定期間自宅付近のパトロールをしたり、110番通報した際、直ちに現場臨場できるようにする仕組みはあります。

また、警察側で特にリスクが高いと判断した場合には、一定期間自宅から離れるなどの対処をお願いする場合があります。

(3) 【質問】

協議会は、地域と警察を結ぶ有意義な場所だったが、協議会とは別に地域の声を警察署に届ける方法はあるか。

【回答】

地域の皆様の声を届ける場としては、いわゆる活動協力者等があり、各々の活動において意見等を得ることができます。具体的には、交番駐在所連絡協議会や交番協力員がこれにあたります。

その他、警察官が一般家庭を訪問しご意見ご要望等を伺う巡回連絡という方法もあ

ります。

直接、地域の声を届けたいというご希望があれば、最寄りの交番・駐在所をお尋ねください。

また、千葉県警ホームページで意見要望情報に対するメール受付というものがあります。関係部署にメールの内容を通知する必要がありますので、回答には一定の時間を要しますが、地域の声を届ける方法の参考としてもらえればと思います。

(4) 【質問】

佐倉警察署管内で駐車違反金の滞納者はいるか。過日、新聞報道で昨年度末時点で約604万5千円あったと伺った。

【回答】

本件を担当する交通部交通指導課に確認したところ、警察署単位の件数については回答を控えさせていただきたいとのことでした。

(5) 【意見】

子供が通う保育園に警察の方が来て、交通安全指導をしてくれた。それ以降、警察の方から教わった横断歩道の渡り方を実践しており、とても良い行動が来ている。

是非、こうした機会を増やしていただくとともに、横断歩道の渡り方だけでなく「こうした場面で事故が起こりやすい。」等の指導も行っていたいただきたい。

【回答】

今後も保育園、小学校、中学校等で積極的な交通安全教室を実施し、園児が交通事故の被害に遭わないよう、交通事故抑止を推進したいと思っています。

なお、令和4年中、保育園に対する交通安全教育は、19回1214人の園児に実施しており、今後も積極的に実施していきます。

(6) 【意見】

中志津地区で、今年に入り空き家や忍び込みが、数件続いている。

また、不審な2人組が「お宅のうちはここを直したほうがよい。」等と言って、自治会内を徘徊しているなど、大変迷惑をしているという話が出ている。

警察官のパトロール強化をお願いしたい。

【回答】

中志津地区では、電話 de 詐欺の前兆電話や不審なセールスマン等に関する相談が多数寄せられていますが、受持ちの中志津駐在勤務員だけではカバーできないので、志津交番やパトカーと情報共有し警戒強化を指示しています。

(7) 【質問】

大学の入試で、「数年前から交通死亡事故数の推移をグラフ全体で見て、死亡事故数が減っているとの結果が出たが、この原因を述べよ。」という問題が出題された。

模範解答としては、20～30年前から比較すると車の性能や安全に関わる装備が加えられたため減少した等と書いてあった。これ直面している皆さまはどう考えるか。

【回答】

交通死亡事故は、車の衝突安全性能の向上により人命に与える影響を小さくできるようになったこと、道路交通環境（交差点や信号機、横断歩道の整備）が飛躍的に向上したこと、運転者のマナーが向上したこと、救急救命が発達したこと等の要因が複

合的に作用し合って、減少したという考えが、大方の意見です。

日本は、欧米諸国から比べると死亡事故に占める車対歩行者の割合が非常に高く、これは道路構造の問題であると思います。

欧米社会は、車と歩行者を徹底的に分離する道路構造になっているので、車と歩行者の事故は少ないですが、逆に車同士が衝突して死亡する率が高い傾向にあります。

今後は道路構造により、歩行者と車を分離していくことが、我が国の大きな課題と言われていますが、現実的ではないので、歩行者保護を促す広報や交通指導取締り、県警で推奨しているゼブラストップ等にドライバーを向けていき、マナーを向上させて、ハード・ソフトの両面から対策をとっています。

(8) 【質問】

電話 de 詐欺の発生が大幅に増加の原因は何か。

【回答】

複数の要因が重なっていると思われませんが、その中で特に大きいのは、被疑者側の方に、高齢者の名簿が出回っている。

被害者のほとんどが固定電話からの被害が多く、県警では固定電話に出ないでくださいという広報をするよう検討しています。

- 7 答申等に対する措置結果
なし。